

2-5.市民の緑に対する意識

(1)調査概要

本市では、市民の緑に対する意識を調査するため、令和2（2020）年11月に「第二次鹿兒島市まちと緑のハーモニープラン策定に関するアンケート調査」を実施し、多くの市民の方々から貴重なご意見等を頂きました。

調査は、無作為に抽出した3,000人の市民の皆様にご調査票を郵送で配付し、郵送で回収することにより行いました。回収された調査票は1,117通で回収率は37.2%でした。

配付	3,000 通
回収	1,117 通
回収率	37.2%

(2)調査結果の総括

全体として、前回と大きく変わるような傾向は見られていませんが、「公園や緑地など公共的な緑化空間」の整備や維持管理が大切との考えが強く、引き続き、取り組んでほしいとの意見が多く見られます。（問8、11、15、17、19参照）

また、前回（平成20（2008）年度）の調査結果と比較を行った際の特徴としては、最近10年での市内全域の「みどり」の量に対する印象が、「増えている」との回答の占める割合が増えてきていることから、引き続き、適切な維持管理等に取り組んでいく必要があります。（問7参照）

分野	設問	結果の概要
回答者の属性	問1：居住地域	回答の多かった地域・地区は鴨池地区、谷山北部地区、谷山地区で、概ね本市の地域別の人口比率と同様。
	問2：年齢構成	70歳以上が最も多く、60歳以上の割合が高くなっているが、概ね、本市の年齢別の人口構成同様。
	問3：居住年数	20年以上が最も多く、10年以上の居住者が6割以上を占める。
みどりの量	問5：市全体のみどりの量	「やや多い」「多い」との回答が半数以上を占める一方、「やや少ない」、「少ない」との回答も4割以上。
	問6：地域のみどりの量	問5の全体の緑の量と同様の傾向。
	問7：ここ10年のみどりの量	「あまり変化がない」が最も多く、4割以上を占める。また、「増えた」との回答の割合は増加、「減った」との割合は減少。
	問8：みどりの多いと思う施設等	「社寺仏閣や史跡などの伝統的な緑」と「公園の緑」は多いとの認識。一方、「工場・企業用地の緑」は8割が少ないと認識。

分野	設問	結果の概要
みどりに対するイメージ	問4：みどりがあることで好ましい点	「季節感が感じられる」との回答が最も多く、次いで「心が安らぐ」、「空気をきれいにする」が多い。
	問9：みどりに対して今後望むこと	「都市に季節感や美しさ風格を与える」との回答が最も多く、次いで、「都市の気温や空気などの環境を調整する」が多い。
	問10：身近なみどりの印象	「地区、場所により緑の量に差がある」との回答が最も多く、次いで、「農地や山などが荒れて気になっている」、「気軽に緑を親しめる公園などが少ない」との回答が多い。
	問11：最も大事と考えるみどり	「公共的な緑化空間(公園・街路樹、公共施設の庭)」との回答が最も多く、約半数を占め、次いで、「大きな公園」が多い。
	問12：公園や運動場の数	最も多いと感じられているのは、「散歩する場の数」。「子どもの遊び場の数」は、多いと回答した割合が前回より増加した一方、「屋外イベントを開催する場」などは減少。
	問13：各施設の緑化の満足度	最も満足度が高いのは「公園内の緑化」、次いで「軌道敷の緑化」が高い。一方、最も満足度が低いのは「港や沿岸部の緑化」。
みどりの保全	問14：みどりは守り育てる必要があるか	「必要」との回答と、「どちらかというとも必要」との回答を合わせると9割以上を占める。
	問15：特に守り育てる必要があるものは	「公園の緑」との回答が最も多く、次いで「街路樹など道路の緑」、「自然林や里山などの緑」が多い。一方、「工場や企業用地内の緑」が最も少なく、次いで「宅地の緑」が少ない。
	問16：みどりを守り育てる必要がない理由	「落ち葉や害虫の発生など生活に支障をきたす」との回答が最も多く(6割)、次いで「他の事業を推進すべき」が多い。
	問17：みどりを増やす効果的な場所	「公園や施設」との回答が最も多く、次いで「街路樹などの道路や河川沿い」、「学校、市庁舎」との回答が多い。
	問18：みどりを守るための今後の取組	「樹林地や水辺地などを保全する」との回答が最も多く、次いで「保存樹・保存林の指定を増やす」、「新たな開発を抑制する方策を検討する」との回答が多い。
	問19：緑化で力を入れてほしいこと	「公園や緑地の整備」との回答が最も多く、次いで「公共施設の緑化」、「街路等への植樹や道路への花壇設置」が多い。
公園の利用状況	問20：公園をどの程度利用するか	「年に数回」との回答が最も多く、次いで「月1~2回」、「行かない」との回答が多い。よく利用する公園は「鹿児島ふれあいスポーツランド」、「かごしま健康の森公園」など。
	問21：よく利用する公園までの所要時間	10分以上との回答が最も多く(4割)、次いで「5~10分」、「3分以内」が多い。前回と比較すると10分以下の割合が増加。
	問22：公園の利用目的	「散歩をする」との回答が最も多く(4割)、前回から1割程度増えている。次いで「子供を遊ばせる(2割)」が多い。
	問23：公園の数	「もっと公園が必要」との回答と「今のままで良い」との回答が約半数ずつを占める。
公園の活用	問24：どのような公園がもっと必要か	「散策や自然観察ができる公園」が最も多く(5割)、次いで「歩いて行ける身近な公園」、「休日に自転車や車などで行く大きな公園」の順で多い。
	問25：公園数が今のままで良い理由	「公園をあまり利用しないから」との回答が最も多く(4割)、次いで「防犯上の不安がある」、「数が多すぎる」の順で多い。
	問26：公園を充実させるために必要なこと	「休憩等ができる施設の充実」との回答が最も多く、次いで「清掃などの管理の充実」、「トイレの新設や増設」が多い。
	問27：今後利用したい公園	「健康づくりのできる公園」が最も多く、次いで「芝生広場などのある公園」、「植物に親しむことのできる公園」が多い。
育てる取組、みどりを普及	問28：みどりを普及、育てる取組	「緑を楽しむイベントの開催」が最も多く、次いで「市民の参加しやすい緑化運動の展開」が多い。
	問29：参加できる取組は	「園芸など趣味の活動」や「自宅の敷地内の緑化」、「市や地域の緑の催し」などは「参加できる」との回答の割合が高い一方、「緑化ボランティア」や「花や緑に関する講習会等」、「地域の一員としての緑化活動」は参加が「難しい」との回答の割合が高い。
自由意見	維持管理：街路樹(花壇を含む)、公園の増設、除草などの要望や意見。 緑化推進：街路樹の増設や新たな整備(花壇を含む)などの要望や意見。 その他：防犯対策、緑化のあり方、緑化の提案などの要望や意見。 市への施策賛同や感謝応援といったコメントも寄せられた。	